

# 優秀賞

タイトル 新築住宅の盲点解消 ～車椅子で段差昇降～

タイプ 持家一戸建

構造 在来木造

講評

アイデア的なバリアフリーリフォームである。玄関から車椅子で出入りできるようにするという目的達成を優先し、18cmの段差を残したまま、車椅子でも昇降できる折りたたみ収納式の階段を設置した。

リフォーム前後の写真



工事前

スロープは設置スペースも困難で女性の介助操作では難しかった為階段状での車椅子昇降で設計。

式台に立った状態での操作を想定し、一番楽な姿勢と操作方法を模索しました。

- ①女性が片手で操作できること
- ②操作方法がワンクッションであること
- ③手を離しても指詰めしにくい構造であること
- ④折りたたんでも下足収納が利用できること
- ⑤なるべく違和感の少ない形状とすること

試作品製作

試作品で操作手順を奥様にレクチャー「私でもできるわ！」



通院、リハビリ、お散歩・出来て当たり前前の外出が住んでみて初めて気づいた新築住宅の盲点で困難に。バリアが世間との障壁になっていました



18cm段差も難なくクリア！



※操作途中で手を離しても倒れないよう、安全性に配慮

完成

収納時

設置

お散歩に～♪



リフォーム前

リフォーム後

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想・満足度/住宅の価値を向上させた内容など

新築後3年の木造住宅で、室内はバリアフリー環境が整っている住宅である。ただひとつ、難点があった。“車椅子での出入りができないこと”である。

掃き出し窓に改造し段差解消機器を設置すると駐車ができなくなり外出に困る。又、駐車料がかかり不経済。玄関からなんとか出入り出来る方法を考えることに。お施主様からは「どんなふうになっても構わないから目的の達成を第一に考慮して欲しい」とのご希望だった。

設計者としては「ワンクッションの簡単動作で安全に！」をコンセプトに試作品を製作しお客様にご提案し進めた。介助者は奥様（女性）で、スロープ操作は重く不向きであった為“車椅子で昇降できる階段”を折りたたみ収納式で計画し、女性でも車椅子の段差昇降を軽く行う操作のコツをレクチャーし、楽にできるように計画した。結果、日々の外出が楽しくなった。奥様独りで簡単に片手で収納操作でき、満足の仕上がり。お天気の日気持ちよくお散歩できるようになった。

性能向上の特性

バリアフリー性能

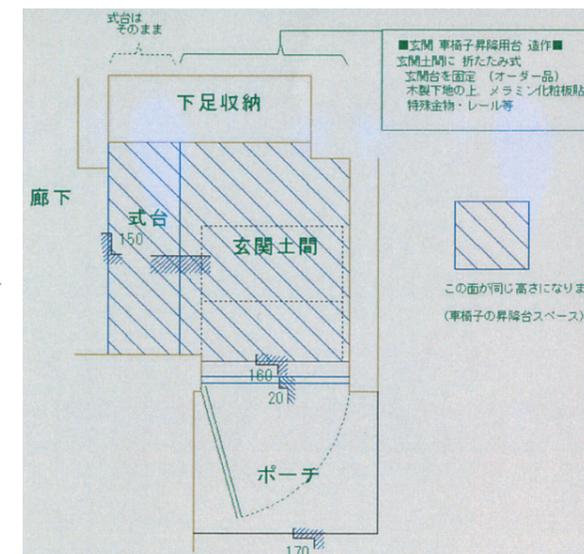
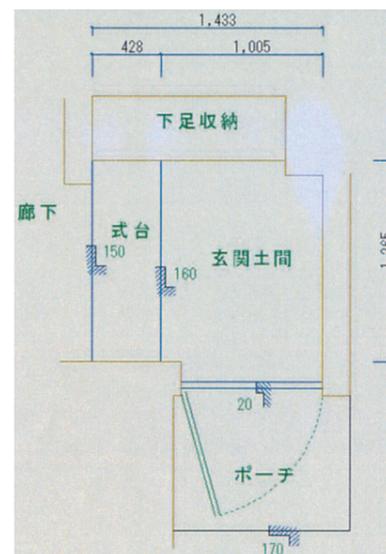
車椅子の主要出入り口を創作

特に配慮した事項

玄関スペースにワンクッションで収納設置可能な車椅子用架台を造作。安全性に配慮し、途中で手を離しても急に落ちないように配慮。バリアフリーの新築住宅の盲点を補い、快適な生活が可能な家屋になりました。

データ

所在地	大阪府豊中市	築後年数	3年	施工期間	2 日間
該当工事面積	2 m <sup>2</sup> /総工事床面積	2 m <sup>2</sup>	該当部分工事費	23 万円/総工事費	23 万円
居住者構成	15歳以上65歳未満: 4 人/65歳以上: 1 人/15歳未満: 人/ペット:				
設計会社	パナソニック電工エイジフリーショップス(株)	担当者	上中学		
施工会社	同上	担当者	同上		



リフォーム部位: 居室 台所 浴室 便所 洗面所 廊下 階段 玄関 エクステリア マンション共有部